

令和8年度 第1回 中津川市立図書館協議会 議事録（要約）

日時 令和8年 6月 26日 15:30～16:20

於 中津川市ひと・まちテラス 活動室 101ab

「中津川市審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき公開した。

・傍聴人0名

出席者

・委員(8名)

加藤里枝、福井陸斗、倉野誠司、下枝その子、小倉尚美、田中孝一、小川弘美、加藤理々奈

・事務局(5名)

文化スポーツ部長 林千絵、次長 中尾まゆみ、図書館長 小池孝子、館長補佐 鷹見朋子、
主査 戸谷朱里(記録)

1. 開会

2. 任命書・委嘱書交付

3. あいさつ

(文化スポーツ部長)

お足元の悪い中、ご出席いただきありがとうございます。委員の皆様には今年度より新たに2年間の委嘱をさせていただきました。お忙しい中、お引き受けいただきありがとうございます。委員の皆様には利用者目線、市民目線でご意見をいただきたいです。来年度から「中津川市総合計画」は新しい計画の期間が始まりますが、それに関連して図書館では「子ども読書活動推進計画」「図書館サービス計画」を新たに策定することとなります。そのため、皆様には通常の協議会と合わせて、それぞれの計画の策定で協力を賜ることとなりますので、よろしくお願いします。

4. 委員、職員の紹介(資料1)

5. 会長、副会長の互選

会長:委員としては前期から合わせて3年目に入ります。新しい図書館になりましたので、気楽にお話を伺えたらと思います。きっとそこから新しいアイデアが生まれるのだと思います。司会進行として頑張りますのでよろしくお願いします。

副会長:平成30年から委員をしています。忌憚ない意見をいただければと思います。

6. 報告事項

・図書館の概要について(資料2)

鷹見:(資料2説明)

・令和8年度文化スポーツ部の方針と重点について(資料3-1、資料3-2)

部長:(資料 3-1、3-2 説明)

・令和8年度実施事業について(資料4)

館長:(資料4説明)

・令和8年度予算について(資料5)

館長:(資料5説明)

・中津川市図書館サービス計画及び中津川市子ども読書活動推進計画策定について(資料6)

鷹見:(資料6説明)

(全体を通して意見交換)

委員:幼保こども園について、少子化に伴い市内 13 園になりました。園に図書室はありますが、図書室の絵本は限られているので、園児が歩いて行けるところにある公民館図書室を利用したり、配本サービスを利用しており、ありがたいです。3月で閉園した一色保育園に勤めていたのですが、一色保育園では定期配本を利用して、毎月 50 冊も季節に合わせた絵本や紙芝居、大型絵本を送ってくれるのでありがたかったです。幼保こども園では、園や家庭で読み聞かせを続けられるように頑張っていると思います。

委員:私はいろいろな立場があるのでいろいろ話してしまっていますが、まず、乳幼児学級の関係で 13 公民館すべて回って活動しています。乳幼児学級の日に合わせて配本をお願いしていて、かごの中に入った絵本を乳幼児学級の時に読み聞かせで使ったり、乳幼児学級が終わった後にお母さんたちに借りていってもらったりしています。お母さんたちはたくさんの絵本の中から選ぶのが大変ということもあるようで、おすすめの本をあらかじめ選んで、しかも配本しておいてくれるというのは本当にありがたいです。さらに借りたいという人は公民館の図書室や図書コーナーの本を帰りに借りていってくれるのですが、公民館によってしっかりした図書コーナーがあるところと、そうでないところとばらつきがあるので、そこが気になっています。

次に、子育て支援センターの立場からの話ですが、支援センターがひと・まちテラスの中に入って、目の前に図書館があるので、いつも利用させていただいていてありがたいです。支援センターでも読み聞かせをしているのですが、定着してきて、それを楽しみに来ているお母さんもいて、いいことだと感じています。

次に、西小学校へ読み聞かせにいらっているサポーターとしての立場の話ですが、最近は保護者が

読み聞かせに参加されるということが少なくなってきた、地元のボランティアや図書館のサポーターで協力して足りないところをサポートして全クラス対応できるようにしているので、ありがたいです。地元のボランティアの方は年配の方が多いのもあって、本選びからが難しい方が多かったのですが、図書館職員に出張読み聞かせ講座をしてもらって助かりました。

最後に家庭教育の講座をしている立場からの話ですが、講座のときに図書館職員に来てもらって、ブックスタートの説明を再度してもらっています。3か月児健診のときにブックスタートの説明はしてもらっているのですが、3か月児健診はやることが多くてなかなか落ち着いて話を聞けないので、再度してもらえるのはいいことだと思います。ブックスタートのトートバックを持っている人も増えたと思います。

委員：トートバックいいですね。あれはブックスタートの時にもらえるんですか？

館長：いえ、ブックスタートの時に引換券を渡していて、図書館に来て赤ちゃんのカードを作って本を借りてくれたら渡す、という仕組みになっています。

委員：いいシステムだと思います。そうじゃないと図書館に行かない。

館長：トートバックは地元出身の絵本作家・村上康成さんのデザインです。

委員：なかなか図書館に行かないというので思い出しましたが、前任の委員が、大学生はなかなか図書館に来られないということを言っていました、大学生の立場からどうですか？

委員：私は家が恵那市なのですが…。

館長：図書館の利用カードは市外の方でも作れます。

委員：そうだったんですね。帰りに作っていきます。

委員：前よりも開館時間を長くしてくれているんですね。

館長：そうです。今は平日 20 時まで、土日祝は 18 時まで、それぞれ 1 時間ずつ延長しています。

委員：中津川市立図書館を利用したことはありますか？

委員：大学の課題で図書館を一度だけ使いました。

委員：これからたくさん使ってください。

委員：前任の青年会議所から来てくださっている委員が雑誌スポンサーを頑張って募集しますと言っていました、いかがですか？

委員：これから勉強させていただきます。

委員：学校司書さんはどうですか？

委員：私はもともと県図書館にいまして、今年から中津高校の司書をしています。ジュニアサポーターについて高校生の参加はありますか？

館長：今年度は中学生のみです。前年度まではおりました。

委員：先ほどから中津高校の生徒が活動室にいる私に気づいて手を振ってくれていて…図書館には中津高校の生徒がたくさん来ていることがわかったので声をかけてみます。帰りにポスターとチラシをいただければと思います。

委員：中津高校は特にボランティアを推進している学校な気がします。

委員：そうなんですね。図書館が好きな生徒がいるので声をかけてみます。

委員：以前は中京学院大学の学生さんもボランティアで来ていましたよね。

館長：若い力というか、高校生や大学生といったお兄さんお姉さんがボランティアをしている姿を子どもたちが見て、大きくなったら自分も参加しようと思ってもらえるような雰囲気が作れるといいなと思っています。

委員：私は点訳図書を作成するボランティアをしています。点訳図書は利用者が限られているのですが、利用者の高齢化、さらにボランティアも高齢化しているという悩みを抱えています。去年は図書館フェスで「点字で名刺を作ろう」というブースを出させてもらって市民の方と交流することができました。今日は、図書館でいろいろなことをやられているってことを知ったのでこれから勉強していければなと思っています。

委員：気になっていることがあって、蔵書点検の時期ってずらせないですか？大学受験の時期に被っていて利用できないのが残念に思っているのですが…。

館長：貸出の下がる時期などを考えて時期を決めてはいるのですが、席利用の具合も考慮しないといけないなと思いました。今後検討していきたいです。

委員：坂本地区にある学童の手伝いをしています。坂本地区は子どもが多いのですが、学童に本がなくて取り合って読んでいる状況です。学童の職員に去年配本サービスを勧めたところ、さっそく使ってくれた学童がありました。今年度も別の学童が利用のために登録に来るかと思いますがよろしくお願いします。子どもたちは配本される本を楽しみに待っています。坂本地区の学童は定員オーバーしていて、坂本はなのきセンターで過ごす子どももいるので、はなのきセンターにも本を置いてもらえるとありがたいです。本が欲しいというところはたくさんあると思うんです。市民病院とかもたぶん本が欲しいと思う。待合で待っている人向けに配本できないですか？

館長：病院はなかなかハードルが高くて行けていないのですが、川上公民館から川上診療所に配本をしていて、地域ではできているところがあるので、少しずつ配本先を増やしていければと思っています。

委員：大学生のボランティア募集はされていますか？

館長：中京学院大学の学生さん向けのボランティアだと、市と連携して取りまとめる部署があります。図書館フェスというイベントを昨年度から始めたのですが、今年度は図書館フェスのボランティアの募集を出してみてもいいかもしれませんね。

委員：来年度中京学院大学は多治見市に移転してしまうので、その前にボランティアで参加できればと思います。

7. その他

鷹見：次回の開催日は後日お知らせします。

8. 閉会